

特異な圏谷地形の高山植物群落

薬師岳・雲ノ平圏谷群高山植物遺伝資源希少個体群保護林

設定目的

薬師岳（二、九二六^{メートル}）の東側斜面一帯には、氷河によってできた圏谷（^{けんく}カール）が広がっており、その特異な地形に希少な高山植物が生育していることから、これらの個体群の保護・管理をしています。

地況・林況

当保護林は、飛騨山脈（北アルプス）の奥黒部山地に位置しています。薬師岳の東斜面に並ぶ四つの圏谷は、我が国で確認されている中で最も発達したものであり、学術上の価値も高いため国の特別天然記念物「薬師岳の圏谷群」に指定されています。

稜線付近には、ハイマツや雪田植物が群生しており、貴重なライチョウの生息地になっています。

シリーズ

中部の保護林(第33回)

所在地
富山県 富山市



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、コードを読み込んでください。